ブラジルの伝統格闘技カポエイラの団体

ゲトーカポエイラ



ゲットー（GUETO）という言葉はポルトガル語で貧困街（スラム）を指す意味があります。
ゲトの中で生きる人たちは繋がりが強く結束力があり、音楽やダンスなどの文化が優れているのもまたゲトです。ゲトは黒人文化の宝庫です。
またGUETOとは“Grupo Unido para Educação e Trabalhos de Orientação”
という頭文字をとってGUETOにもなっていまして、直訳すると「教育指導のために集まった団体」となります。
創始者のジェアン師範(体育学大学教授）とカッシオ師範（歴史学高校教諭）がカポエイラの聖地ブラジルのバイーア州サルバドール市で1992年にグループを立ち上げました。
二人の住む近くの地区のゲットーで生活する人達に、カポエイラを通して教育指導を行ったのが始まりです。
その地域活動と並行して私立学校でのカポエイラ導入。教育とカポエイラをテーマにした事に多くの人が賛同し、バイーア国内だけでは無く、アルゼンチン、エクアドル、コロンビア、日本、台湾、などに支部が広がり世界的な団体になりました。
ジェアン師範はブラジルバイーア州立連邦大学の運動学の教授として働きながら、子どものカポエイラ教育、知的障がい者へのカポエイラ、視覚障がい者へのカポエイラ教育を題材に研究しブラジルでは３冊の本を出版しています。
メデイアや多くの国外でのゲストパネラーや講師として招待され、現在はWCF（世界カポエイラ連盟）の名誉師範として世界のカポエイラを一任するような人物です。





ゲトカポエイラの日本支部は母体となる団体を2001年より金沢で活動を始め、代表の池崎がブラジルのバイーア州カポイラ連盟より正式な指導者として認められて2006年に日本支部として活動を開始しました。
日本支部からは指導者を始めメンバーが毎年ブラジル本部へ学びに行き、常に本物に触れております。
年に一度ブラジル本部より師範を招き昇段式を開催し(金沢市後援）全国から一同に集まる大きなイベントを開催しております。
本物に触れ、技術や文化を学び真の意味での国際交流を図っています。

幼児や小中高生のメンバーが多く在籍し、全国学生カポエイラチャンピオンシップでは毎年ゲトから優勝、上位入賞者を輩出しています。また他団体の国内の大会でも優勝者や２０２１年にはWCF（世界カポエイラ連盟）の主催する世界大会でも優勝者を輩出しています。

様々な企業とカポエイラとのショウでのコラボレーションや、ブラジル大使管や小中学校などの教育機関においても多文化、国際文化の紹介としてカポエイラの紹介や体験会などを行なっています。